

吉田優子さんが遺した歌集「ヨコハマ・横浜」、そして19年前に「掲載されました!」とコピーを送って下さった「めまい」をいつか舞台上、と思いつけていました。今読み返した時の新鮮な響き。16年経つてようやく彼女に追いついたのかもしれない。

「めまい」に登場する「シチリアの木の下で」は、「シチリアの月の下で」というタイトルのCDのことらしい。どこで「つき」の「つ」がはずれて「き」になってしまったのでしょうか。「つ」を抱えて旅立ってしまった彼女に訊いてみたい、と思いつつ。そして、「つ」／津は、船着き場／港のこと。小さな港を抱えた彼女はどんな舟を待っていたのでしょうか？ 今も、なのでしょう。

昨年2月、3月と「ハムレット」をテキストにしたパフォーマンス「ハムレット」を創っていました。「ハムレット」はあくまでもテキスト。そのことはたちと世界を元に自由に発想して、という試みに毎回、訳の使用を快諾して下さいる江戸馨さんに感謝です。

本日はご来場ありがとうございました。

2016年2月19日(金)

ヒグマ春夫の映像インスタレーション&

コラボレーション・シリーズ第5弾

連鎖する日常／あるいは非日常の6日間・展にて。

会場 銀座 K's Gallery

テキスト

北原白秋「東へ行けば」

吉田優子歌集「ヨコハマ・横浜」(ながらみ書房刊)

「めまい」叙情文芸'97冬号掲載

Wシェイクスピア「ハムレット」訳：江戸馨

構成演出 丹下一

出演 花柳輔礼乃／丹下一

協力 橋本識帆／秋山智子